



貝塚市立二色小学校 校長室だより第9号

H22年6月25日発行

貝塚市二色1-3-1

Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

★学校水泳が始まっています。がらがらうがい&手洗いを！

目も洗いましょう。★

校長室に届いた感想から

6月22日(火)、児童朝礼がありました。先日のご来客が、「二色小学校の子ども達は、相手の顔や目を見て挨拶ができますね。」と、褒めてくださったこと、最近トイレのスリッパを、児童会中心にきれいにしようとしていることを話した後、『小さな白いにわとり』のお話を読みました。1～3年生は、思ったこと、4～6年生は白いにわとりじゃない登場人物だったら・・・？という感想用紙を、校長室前に置いておいて、自由に書きに来てもらうことにしました。

校長室前を通るお母さんが、「あ！このお話、小さい時習ったよな。何回も読んだなあ・・・。」などと懐かしそうに話しておられました。そうこうするうちに、15通も届きました。

(2年生) □みんな、パンがすきなんだなと思った。みんなしごとがにがてなんだなと思った。

(3年生) □ねこたちもてつだったほうが良いと思います。□白いにわとりは、一人でやってつかれないのかな？と思いました。

□小さい白いにわとりは、みんながやりたくないことも、一人だけでやっていて、やさしいと思いました。やりたいことだけやるんじゃなくて、やりたくないこともやるって、すごいことだと思いました。

(4年生) □ぶたもねこもいぬも、手ついたらもっとおいしくできたと思いました。□「いやだ」と言わずに、いっしょにやってあげる。□白いにわとりといっしょに畑しごとをする。そして、いっしょに分けて食べる。

(5年生) □私がもし、ぶた・ねこ・いぬだったら、いっしょに麦をまいて、麦をかって、いっしょにパンを作って、食べます。

だって、みんなで、作った物を、みんなで食べたら、すごくおいしいと思うからです。□小さい白いにわとりをてつだってあげるけど、まくのはしなくて、「してくれてありがとう」と言って、ごはんを食べます。□ぶた、ねこ、いぬはてつだうのはいやといていたのに、食べる時だけ「食べる！」というの、ずるいと思いました。□小さい白いにわとりにまかせっきりで、パンを食べる、楽な事ばかりを好んで、とつてもわがままで、私が小さい白いにわとりだったら、「手伝ってよう」と、ぜったい言うと思います。わたしがねこなら、手伝うと思います。□わたしがぶた、ねこ、いぬだったら、手伝うかなあと思います。なにも手伝ってないのに、パンだけ食べるからずるいと思いました。ふつうは、にわとりが、全部食べたらいいの、と思いました。

(6年生) □私は、作るとかなにかをやるのが、とても好きなので、たぶんやると思います。自分で作って、そして食べたら、もっともとおいしいと思います。・・・この本をよんで、なにか学んだ気がしました。□ぶた、ねこ、いぬは、とてもひどいなあと思いました。□ぼくもめんどくさいと言って、にわとりを手伝わなかったと思う。でもパンができると、ぼくもぶた達のように、食べると思ったと思う。そして、食べられたとしても、後から、あのとき、4回も「手伝いますか？」と言われても手伝わなかったことをすごく後悔すると思う。だから、この本を読んで、やさしい気持ち、思いやる気持ちをもたないと、後から後悔してしまうことがわかった。

1年生は書きに来るのがむずかしかったかな？・・・こうして見ていると、成長がわかります。考える力ですね。

しかも、進んで書いてくれました。(拍手です) 戒めとしての『働かざる者、食うべからず』ではなく、自分だったらどうするかな？2・・・と想像(共感)する力をうんと育ててほしいと思います。

『小さい白いにわとり』(裏にお話あり)